

令和元年度 校長経営戦略支援予算【加算配付】配付申請書(選定校記載用)

(校園コード 552122)
※校園コードを入力してください。

学校名 南中学校
※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

1 配付額 1,769,420 円

2 自校の現状・課題(※小・中学校においては、学力課題に限定)

本校は通常学級が4学級、特別支援学級が4学級(全校生徒数139名)という小規模校である。地域的には校区に大阪ミナミの繁華街を含み、外国籍の生徒が多く、保護者の母語が日本語でない生徒は全体の40%を超えるという現状がある。様々な事由から転入が多く、年間を通して、外国から編入してくる生徒も多い。日本語が全く話せない・わからない生徒には、基本的な日本語指導から行う必要がある。

このような実情がある本校の学力面の課題は、全国学力・学習状況調査等の結果において、日本語指導を要する生徒は生活言語が理解できても学習言語の理解までに至っていないケースが多いなどの理由から、学力低位層を占める割合が多く、依然として全国平均を下回っていることである。全ての教科の基礎・基本の学力となる言語能力の育成に重点的に取り組む必要があり、ルビうち教科書の作成や日本語教室や放課後学習会など個に応じた指導を充実させていかなければならない。さらに、中学校チャレンジテスト・統一テストの結果などから、社会・理科に大きな学習課題がみられる。問題集を活用し、社会科・理科の基礎・基本の学力の定着を図る必要がある。

3 年度目標(※小・中学校においては、学力向上の目標を記載すること)

☐ 中学生チャレンジテストにおける標準化得点を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 ☐	
目標に対する達成状況(取組完了時)	達成
※決算報告時に記載	

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上の取組】
・漢字検定試験を活用し、語彙力・表現力を向上させ、全体の国語力を高める。またルビうち教科書を作成し・タブレット端末を活用するなど日本語指導の必要な生徒の学習環境を整備し、日本語能力アップを図り、全体的な学力の底上げにつなげる。
・社会科・理科の問題集を活用し、基礎・基本の学力を向上させる。

【施策4 国際社会において生き抜く力の育成】
・外国籍の生徒が多い本校の特色を活かし、グローバル化社会を生きる生徒の英語力を英語検定試験を用いて向上させる。

5 年度目標に応じた事業効果を測る指標(期待する効果等)

漢字検定・英語検定・日本語能力検定試験の合格率を60%以上にする。	
指標に対する達成状況(取組完了時)	達成
※決算報告時に記載	

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 年間スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み	日本語能力検定試験対策								
	漢字・英語検定試験対策				英語検定試験対策				
	チャレンジテスト対策								
効果検証									

取組

1

(校 園 コー ド 552122)
学 校 名 南 中 学 校

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】 【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上の取組】 ①日本語指導を要する生徒に対して、ルビうち教科書を作成したり、タブレット端末を活用して自主学習に取組ませたり、学習指導において翻訳機を活用して学習支援を行う。 ②日本語能力検定試験を活用し、日本語能力を向上させる。	委員会使用欄	達成
予算内訳 11-1 カラープリンター @30,000×1台 = 30,000円 11-1 インクカートリッジ @63,180 (5色)×3セット =189,540円 11-1 充電用アダプター @ 5,000×1台 = 5,000円 11-1 翻訳機 @35,000×4台 =140,000円 14-1 タブレットレンタル料 @10,800×5台×7ヶ月 =378,000円 14-1 Wifiレンタル料 @ 8,000×8ヶ月 = 64,000円 12-4 日本語能力検定受験料 @ 5,500×20名 =110,000円		
期待される効果 ・日本語が全く理解できていない生徒の初期対応に効果が期待できる。 ・効率的に習熟度に応じた日本語能力を習得することができる。 ・学習言語も効率的に学ぶことができる。 ・日本語指導を要する生徒たちの学習習慣の確立に資する。		

(1)取組内容に対する実施スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み	日本語能力検定試験対策						日本語能力の向上		
効果検証						↑ 日本語能力検定試験			

(1)取組内容に対する中間報告

- ☒ スケジュールどおり実施できている。
☐ スケジュールにやや遅れがあるが、取組は予定どおり実施できる見込みである。
☐ スケジュールに大幅な遅れが出ている。(□他責・□自責)

[大幅な遅れがある場合]理由及び対処方法(年度末到達目標の修正など)

(1)取組内容に対する決算内訳

決算内訳

※決算報告時に記載

※取組内容はPCDAサイクルを意識して設定してください。委員会使用欄は空欄としてください。

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】 【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上の取組】 ①漢字検定試験を活用し、全校生徒の語彙力・表現力の向上を図る。 ②漢字検定用の問題集を活用し、事前学習に取り組ませる。 ③社会科の問題集を活用し、基礎・基本の定着を図る。 ④理科の問題集を活用し、基礎・基本の定着を図る。	委員会使用欄	達成
予算内訳		
11-1 漢字検定用問題集	@ 1,080× 30冊	= 32,400円
11-1 社会科問題集	@ 756×140冊	=105,840円
11-1 理科問題集	@ 756×140冊	=105,840円
12-4 漢字検定受験料	@ 2,000× 59名	=118,000円
期待される効果		
・全ての教科の基礎学力となる語彙力・表現力が向上し、全校生徒の基礎学力の向上が期待できる。 ・共通目標を持たせることで、お互い切磋琢磨し、効果的な学力の伸長にもつながる。 ・問題集で反復学習することで、基礎・基本の学習用語の定着も期待できる。 ・特に日本史などの苦手分野を効果的に学習することができる。		

(2) 取組内容に対する実施スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み	漢字検定試験対策								
	チャレンジテスト対策								
効果検証					漢字検定試験・大阪市統一テスト				チャレンジテスト

(3) 取組内容に対する中間報告

- ☒ スケジュールどおり実施できている。
☐ スケジュールにやや遅れがあるが、取組は予定どおり実施できる見込みである。
☐ スケジュールに大幅な遅れが出ている。(☐ 他責・☐ 自責)

「大幅な遅れがある場合」理由及び対処方法(年度末到達目標の修正など)

(4)取組内容に対する決算内訳

決算内訳
※決算報告時に記載

※取組内容はPCDAサイクルを意識して設定してください。委員会使用欄は空欄としてください。

取組

3

(校 園 コー ド 552122)
学 校 名 南 中 学 校

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】 【施策4 国際社会において生き抜く力の育成】 ①英語検定試験を活用し、グローバル社会を生きる生徒の英語力を向上させる。	委員会使用欄	達成
予算内訳 12-4 英語検定受験料 @ 3,500×140名 =490,000円		
期待される効果 ・学校全体の英語力を向上させることができる。 ・将来を見据えた目標を持たせることができ、学習意欲を喚起できる。 ・生徒の視野が広がり、進路選択の幅が広がる。 ・多文化共生社会に対する理解が深まり、生徒の人権感覚も高めることができる。		

(2) 取組内容に対する実施スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み	漢字・英語検定試験対策			英語検定試験対策					
効果検証									
				↑			↑		
				英語能力検定試験			英語能力検定試験		

(3) 取組内容に対する中間報告

- ☒ スケジュールどおり実施できている。
☐ スケジュールにやや遅れがあるが、取組は予定どおり実施できる見込みである。
☐ スケジュールに大幅な遅れが出ている。(□他責・□自責)
[大幅な遅れがある場合]理由及び対処方法(年度末到達目標の修正など)

--

(4) 取組内容に対する決算内訳

決算内訳 ※決算報告時に記載

※取組内容はPCDAサイクルを意識して設定してください。委員会使用欄は空欄としてください。